

資料2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通ネットワーク計画に基づく事業）

平成25年4月 日

協議会・構成員

上三川町地域公共交通会議上三川町・関東自動車株式会社・関東交通株式会社関東運輸局・上三川町自治会長連絡協議会会長栃木県交通運輸産業労働組合協議会・栃木県下野警察署・上三川町社会福祉協議会

| 事業名 | 補助対象事業者等 | 事業概要 | ①事業実施の適切性 | ②目標・効果達成状況 | ③事業の今後の改善点 | | |
|---|--|--|-----------------------------|---|-----------------------------|---|--|
| 記載要領 | 【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】 ※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること。 | 【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】 | A ・ B ・ C 評価 | 【計画に位置づけられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】 記載例①： 計画通り事業は適切に実施された。 記載例②： 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。 | A ・ B ・ C 評価 | 【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】 記載例①(確保維持事業)： 目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載) 記載例②(改善事業)： 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた | 【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載 |
| 陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統) | 関東交通株式会社 | 上三川町デマンド交通 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。 | B | 1ヶ月間(運行開始：平成25年3月1日)の利用者数1,000人(50人/日×20日)を目指していたが、636人(31.8人/日)であった。しかし、1日あたりの利用人数の目標である50人を超えた日も1日あり、それに迫る日も数日見られた。 運行開始月ということもあり、事業の内容の周知を図り、広く町民に浸透させ、利用人数増加を図りたい。 | ・事業のP.R。 ・車内広告等の広告収入の検討。 |

平成25年度 上三川町地域公共交通会議（栃木県上三川町） (地域内フィーダー系統確保維持事業)

概要

上三川町の公共交通の現況

上三川町は、栃木県の東南部、東京から約90kmの距離に位置し、県庁所在地の宇都宮市に隣接しており、宇都宮市中心部から約15km、車で約30分の恵まれた立地条件にある。

下野市と接する町の行政界西側にはJR宇都宮線石橋駅、また、区域内に民間会社の路線バスが4系統存在する。

平成24年10月1日現在の高齢化率は17.9%（H25.4.1現在：18.54%）と栃木県内で最も低い（栃木県：年齢別人口調査より）が、急速な少子高齢化の進展や人口の減少、マイカーの利用を前提とした生活スタイルの定着等により、公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持継続が困難となっている。

○事業の目的・必要性

マイカーの普及等により公共交通の利用者が減少している一方で、高齢者の中には、通院や買い物などの移動手段として公共交通を必要としている町民も少なからず存在する。

今後、高齢化社会の進展により、公共交通に対する要望も増加、多様化することが想定され、公共交通の充実を求める町民ニーズへ対応するための取り組みが求められている。

このような中、平成20年3月から運行を開始した「巡回バス」の利用者数が、1日26人程度と低迷していることから、巡回バス運行契約終了後（平成25年3月～）の本町における公共交通のあり方について総合的な検討を重ねてきた。

これらのことから定時定路線であった巡回バスに代わり、本町の実態に即した長期的で持続可能な地域公共交通としてデマンド交通を選定し、平成25年3月1日から運行を開始したところである。

○事業の概要

地域公共交通を確保・維持する取組みとして、町内に終点がある路線バスを「地域間幹線系統」として、これに接続する形で、事前予約型・区域運行のデマンド交通を運行している。

（実証運行期間：平成25年3月1日～平成28年3月31日）。

【デマンド交通】

事業者名：関東交通株式会社

運賃：大人町外（中学生以上） 300円

運行区域：上三川町全域及び指定町外9施設

大人町内（中学生以上） 200円

運行日：月曜～金曜（土日、祝日、年末年始運休）

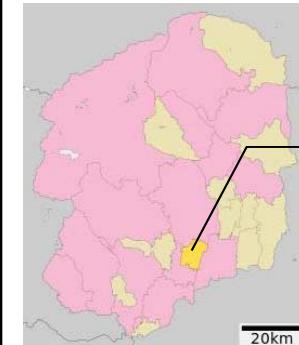
小学生（町内町外問わず） 100円

運行時間帯：8時～5時（1時間1本）

未就学児 無料

運行本数：9本／日（事前予約方式）

運行車両：2台



栃木県
上三川町

| | |
|---------------|----------------------|
| 面 積 | 54.52km ² |
| 人口（H25.4.1時点） | 31,247人 |
| 15歳未満 | 4,975人 |
| 65歳以上 | 5,792人 |
| 高 齡 化 率 | 18.54% |
| 世 带 数 | 10,732世帯 |

地域公共交通会議開催状況 ・検討内容

上三川町地域公共交通会の開催状況

・第1回（平成24年5月29日）

地域内フィーダー系統確保維持
計画策定

・第2回（平成25年4月25日）

事業評価について

定量的な目標・効果

(目標) ・ 1日当たり50人分の移動手段を確保する。

(効果) ・ デマンド交通を維持することにより、路線バスの停留所、鉄道の駅までの接続が確保され、町民の利便性が向上、公共交通利用者の増加、運賃収入の増加を見込める。
・ 自動車を利用できない高齢者等への公共交通サービスの継続的な提供。
・ 高齢者等の外出機会の増加、社会参加を促進させることによる身体的、精神的な健康の維持・増進。

目標・効果の達成状況

上三川町デマンド交通：結果（利用者数 636人 運行日数 20日 平均利用人数 31.8人/日）

・更なる事業のPRが必要。
・20日間の運行の中で、目標の50人／日を達成した日も1日あり、それに迫る日も数日見られた。平均利用人数を下げている要因として、月曜日、木曜日の利用人数が少ないことがあげられる。今後、月、木の利用が少ない原因について長期的なデータをとて分析し、事業内容を改善、周知していく必要がある。

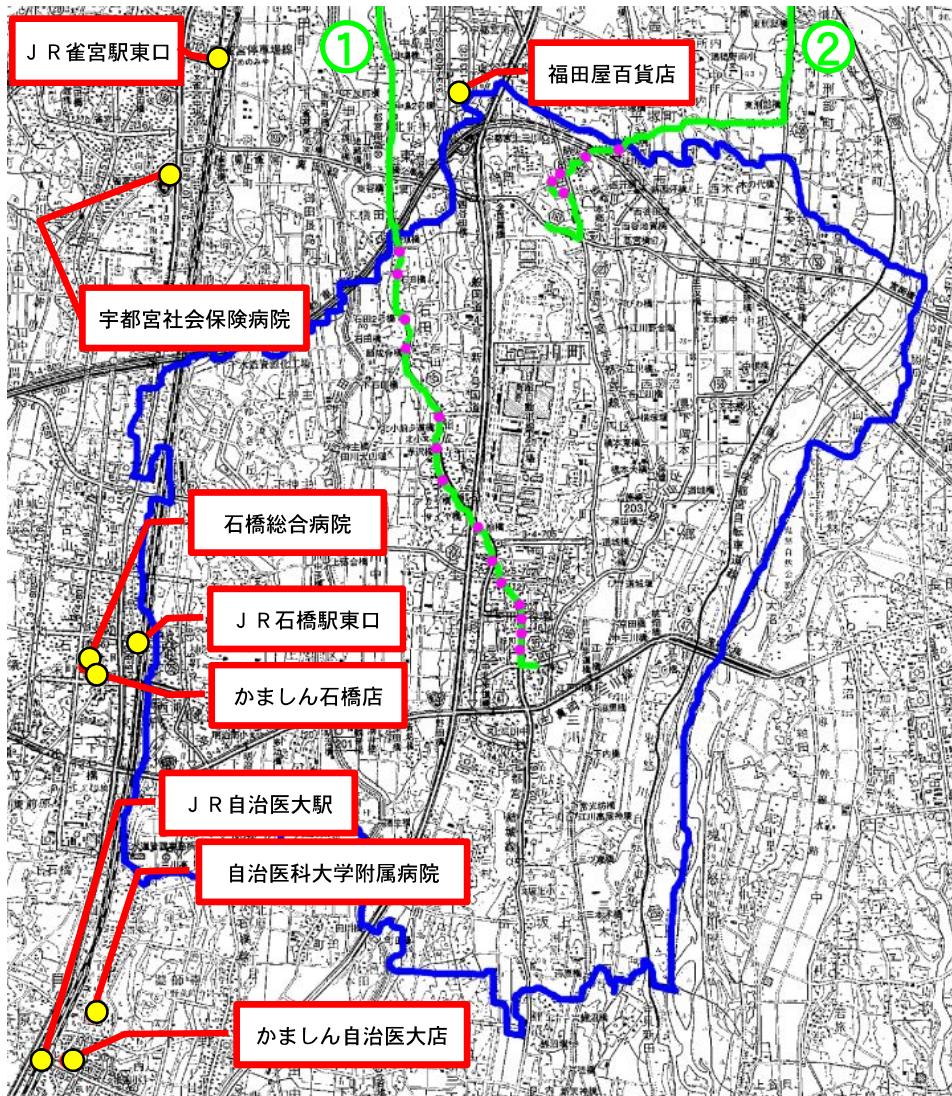
今後の改善点

・事業のPRを引き続き実施し、利用の動向を注視していく。
・車内広告等の広告収入の検討。

アピールポイント

・ドア・トゥ・ドアのフルデマンドで運行。
・区域内だけでなく、町民アンケートで要望の高かった、町外の商業施設、駅、病院を運行区域に反映させている。

上三川町デマンド交通運行区域



【凡例】

— 行政区域境（区域内を運行）

— 幹線系統

- ① 関東バス（駒生営業所～上三川車庫）
- ② 関東バス（駒生営業所～本郷台西汗）

● 幹線系統バス停留所（上三川地域内）

○ 区間運行場所（×9）

- J.R. Narita Station East Exit
- Fujitaya Department Store (FKD Interpark Store)
- Utsukawa Social Insurance Hospital
- J.R. Ishibashi Station East Exit
- Ishibashi General Hospital
- Supermarket Kamashin Ishibashi Shop
- J.R. Seirei Medical University Station East Exit
- Autonomus University of Medical Sciences affiliated hospital
- Supermarket Kamashin Seirei Medical University Station